

村川前副支部長を偲んで

昨年10月9日現職の村川副支部長が亡くなりました。村川氏の校友会での活動風景や、作品を掲載いたしました。作品は奥様が、数ある村川氏の自筆作品の中から、厳選されたものです。

又、奥様の話によりますと、村川氏は、昨年下越で開催された新潟県支部総会に、最後まで、参加の意欲を示し、病室でスクワットまでして体力維持をはかっていたそうですが残念ながら願いがはたせず、無念に思っていたそうです。村川氏の意志の強さ責任感の強さを示すエピソードです。村川氏の遺志を今後の校友会活動にかかしていきたいと思います。



▲第82回総会で議長を務める



▲安吾生誕祭にて雨の中坂口網男氏(左)より説明を受ける



▲新潟県支部80周年記念式典で総指揮を執る



▲安吾墓前祭にて山崎教授(向かって左)とともに中央は新津安吾の会の事務局長



▲安吾風の館で展示品を観る村川氏

ご冥福をお祈りいたします

■ 浦水会



▲市島浦水会新潟支部長

東洋大学浦水会
平成26年度新潟県支部長
S58年文学部英米文学科卒
市島清貴

東洋大学にPTAのようなものがあるのかと、驚かれる方もいるかと思いますが、現在はどの大学にも保護者会があるようです。大学の教職員が、各支部に出向き、在学中の学業成績、学生生活、または、将来の進路等について、講演や個別懇談を行うようになりました。東洋大学は、昭和34年1月に「子女の善意と知性の伸長、健康の保全等を通じ、大学に協力して学生生活の充実を図り、父母相互の親睦と連帯の責任感によって、子女の将来に希望と幸福をもたらすことを念願する」という趣旨をもって「東洋大学父兄会」を設立しました。

「浦水会」と名称を改めたのは平成6年。言わずもがなですが、浦水とは、学祖井上円了先生の出身地長岡西組浦村の「浦」を分散して、部首の「氵」（サンズイの「水」）と「甫」を組み合わせて浦水としたものです。円了先生は哲学館(東洋大学の前身)や哲学堂(東京都中野区)建設のための寄付金を求めて、全国を講演して歩かれた時、寄付を寄せられた人々にお礼として書を揮毫され、書の「雅号」に使用されていました。

現在浦水会は、会員総数は2万5千人を超え、本部と全国56支部が常に緊密に連携し、大学と協力しながら共に子女の卒業まで見守り続けています。今年度新潟支部の会員は687名です。

主な支部活動は、支部総会・父母懇談会、就職講演会、陸上競技部長距離部門山古志合宿支援事業です。また本部主催の事業ですが、「東洋大学キャンパス見学会」は、学生がどのような環境（キャンパス設備）の中で学習しているかを知ること、学生とのコミュニケーションづくりに役立つため、支部からも役員を中心に積極的に参加されるよう呼びかけています。

支部総会は父母が主体となり、支部活動を運営していくための大切な会議であり、会員相互の交流の場ともなります。また、同日に開催される大学主催の父母懇談会では、大学の近況を伝えるとともに、履修・成績、学生生活、就職等の全体説明および教職員との個別面談が実施されます。新潟支部は、8月2日（日）新潟市ホテルイタリヤ軒にて開催しました。午前中の支部総会は、市島清貴支部長の挨拶に始まり、来賓の浦水会常任理事・櫻井昌代様と校友会新潟県支部下越地区事務局長・斎藤淳様からご挨拶を頂戴しました。この後議事に入り、事業報告・収支決算、監査報告、次年度事業計画案・収支予算案、役員改選等審議され、すべて原案通り承認されました。続いて昼食会があり、午後から父母懇談会が引き続き開催されました。



▲校友会新潟県支部を代表して挨拶をする斎藤淳氏



▲浦水会新潟支部総会に出席された竹村学長（前列向かって左）

父母懇談会では、通常大学を代表して、教員のご挨拶で始まる所、この度は東洋大学学長の竹村牧男先生からご挨拶がありました。会場の会員のほとんどは、学長がご出席になることは知りませんでしたので、学長から直接大学の概況について「ミニ講演」を拝聴する機会に恵まれ、大変感銘を受け、喜んでいました。また、卒業生・浦水会連携推進室長の河地修教授と大学職員の6名の課長・主任の方々からご出席頂き、学生の様子や指導等につきまして報告・説明をして頂きました。保護者の関心の高い就職支援については、就職・キャリア支援部京極ゆかり主任と(株)広報しえん管理部野瀬山知巳様から講演があり、親の役目、子の就活支援について学習することができました。最後は希望する保護者と大学職員との個別面談が実施され、充実した一日となりました。当日は「長岡まつり花火大会」と重なってしまい、会員の出席率低下を心配していましたが、昨年度以上の70余名の出席があり、この日を境に退任する支部長としてほっと胸をなでおろしました。成功裏に終わったのも、支部役員全員の協力があったのものと感謝しています。

陸上競技部の山古志合宿は毎年8月の下旬に開催されており、8年目を迎えます。浦水会新潟県支部の支援事業として、5年前にスタートしました。今年も山古志住民会議主催の激励会に20名程の支部役員が参加し、駅伝チームに激励金10万円を贈呈する予定です。この激励会は、今では全国的にも知れ渡るほど注目される大きな行事となりました。地元住民の方々も毎年盛大になっていく激励会を楽しみにしているようです。浦水会新潟支部は、今年後もこの会の支援活動を継続していくべきだと思います。

縁あって引き受けた浦水会新潟支部の役員は重責ではありましたが、お蔭で娘の学生生活を一般の保護者の方よりも何倍も深く理解することができました。大学生も子供です。子供は教員だけ、親だけが育てるのではなく、教員・職員・家庭の連携・協力があってはじめてより良い教育が可能になるということを再確認しました。



▲浦水会新潟支部総会風景

平成27年度 東洋大学校友会新潟県支部役員名簿

役職名	氏名	所在地
顧問	安藤 良顕	長岡市
支部長 (代議員)	植木 宏	上越市
副支部長 (代議員)	本間 直彦	新潟市
副支部長 (代議員)	木村 国夫	長岡市
副支部長	小島 正弘	上越市
事務局長	米山 康久	上越市
会計部長 (代議員)	石田 秀男	上越市

役職名	氏名	所在地
会計監査	中川 一成	糸魚川市
会報部長	吉田 実	上越市
会報部長 事務局長	本間 直彦	新潟市
会報係	各地区事務局長兼務	
レディースクラブ 部長	内田美磋子	長岡市
レディースクラブ 副部長(代議員)	平田 知子	上越市
レディースクラブ 事務局長	高崎 弘子	長岡市

役職名	氏名	所在地
山古志合宿励会 実行委員長	支部長兼務	
下越地区 事務局長	斎藤 淳	五泉市
中越地区 区長	高坂 寛二	長岡市
上越地区 事務局長	山崎 次男	上越市
上越地区 事務局監事	増田 宏	上越市

* 6月7日の支部役員会で村川氏の後任に本間直彦氏が「副支部長（代議員）」として選任されました。

校友の作品

—川 柳—

新潟日報 読者文芸欄 毎週月曜日掲載（月曜が休刊日の場合は前日の日曜です。） 佐藤美文 選

- 薫風が白いシャツには心地よい
平成 25年 5月 20日 掲載
五月晴れの土手に立った時の気持ちよさをうたった句
- よい時もわるい時にもふたり分
平成 26年 3月 17日 掲載
子供たちが独り立ちした後の夫婦の心境
- 知らなくていい本当のこともある
平成 26年 7月 28日 掲載
政治がらみは、隠し事は良くないが、知らない方が良い時もある
- 美人の湯その気になれるだけでいい
平成 27年 4月 20日 掲載
実際に行ったわけではないが空想するだけでも、その気になれるそんな気持ちを詠んだ句

川柳を始めて3年程になります。月に1回位載る程度です。
S48年経済学部経済学科卒 坂田 康雄

◆◆植木宏氏に感謝状◆◆

平成27年5月23日の東洋大学校友会全国支部長会議の席上で、代議員永年表彰（3期9年）されました。



校友だより

昨年の新潟開催の総会や下越地区行事に届いたたよりです。
(一部抜粋、内容数字等は当時のものです。)

- S52年3月社会学部応用社会学科卒 佐藤 宏子
高齢の両親の介助と、出産をひかえた娘の手伝いで毎日があつという間に過ぎていきます。頼りにされるうちが何とやら……。
こびつとがんばっていくつもりです。
- S32年3月経済学部経済学科卒 木戸 貞男
昨年5月、妻を亡くし、一人暮らしです。11月に点訳ボランティア活動について、厚生労働大臣より感謝状をいただき恐縮しております。
たいした事をやった訳ではないのですが……。
- S41年3月社会学部応用社会学科卒 柳 尚武
まだ小さな孫が2人おり、その子守りで大変ですが、楽しんでやっています。
- S41年3月工学部応用化学科卒 品田 孝雄
小さな畑で自給程度の野菜作りの手伝いしながら健康維持に努めています。
- 通信法学部法律学科卒 中村 拓
早稲田や慶応に並ぶ一流校に成長したことは誰が考えても当然と考えるようになりました。
私の息子の嫁は東洋大学文学部卒を貰いました。

- S41年3月法学部法律学科卒 座光寺 義信
昨夏、所用にて白山へ出かけましたが、あまりの変りように驚いてしまいました。
- S41年3月経済学部経営学科卒 藤 卷 賢策
71才、今尚〇〇で頑張る。
- S〇年9月文学部国文学科卒 渡邊 義彦
92才になりました。なんとか普通の生活をしています。ありがたいと思っています。皆様によりしくお願いします。
- S32年3月文学部社会学科卒 金子 俊二
まだ83才で少しでも長生きしようと療養に専心いたしています。
- H10年3月社会学部社会学科卒 松野 龍郎
最近、子どもが生まれ、慌ただしくしています。
- S22年3月専門部国漢学科卒 林 良道
高齢により足腰が弱い遠い所への歩行が困難となり出席できません。又これからの案内を辞退いたします。

S46年3月経済学部二部経済学科卒 中村 英一
 閑啓 梅雨の候。先日はご芳筆のお添え書きを頂き恐縮に存じます。偕、今年4月より自治会長を預らせておりますことから行事が重複、誠に遺憾乍ら裏面の通りとなりました。4月3日の役員会にて当日の7月26日(土)は町内暑気払いの日と決められており、その準備等で抜け出す事が叶わない模様、どうぞ悪しからず。会員の皆様のご健勝とご活躍を心から祈念申し上げます。 合掌

S54年3月社会学部社会学科卒 本望 悦雄
 新潟での総会への参加を楽しみにしておりましたが、6月17日に母が他界したとこと、あいにく当日に仕事が入ってしまい出席することができなくなりました。
 大変残念であり、申し訳なく思っております。

S46年3月経営学部商学科卒 小熊 信正
 昨年の秋40数年ぶりに定年の為新潟に戻って来ましたが、体調不良で現在、療養中です。元気になったら校友会の活動にも参加させて頂きたいと思っております。ヨロシクお願いします。

S45年3月社会学部応社会学科卒 近藤 和義
 定年2年目 早速町内会、保護司用務が入り新人として頑張ってます。土、日は寺泊で森の絵本館グランシェで女房の手伝いをしながら、早起き野球、還暦野球で汗を流して怪我をせぬよう頑張っています。

S41年3月社会学部応社会学科卒 横川 隆
 S41年、社会福祉専攻の者で2年ごとと同級会をやっています。10年前は湯沢でその後仙台(七夕まつり)日光、東京浅草、今年は長岡の山古志で開催します。
 今回12~13人が参加しています。2年後は、秋田で開催します。※沖縄から出席した方もいます。

S60年3月工学部土木工学科卒 高野 政俊
 始めて案内を頂きました。参加したかったのですが、所属の会の年行事とぶつかっており参加できませんでした。

S42年3月経済学部経済学科卒 土屋 明治
 古稀となりました。加齢と共に気力・体力は劣えましたが、定期検診以外は元気です。新潟暮らしも10年となりましたが、名もなく清貧に生活しています。小さな小さな菜園を楽しんでいます。

H26年3月大学院博士後期福祉社会デザイン卒 植木 信一
 平成26年3月に、東洋大学より、博士(社会福祉学)を授与されました。

S41年3月文学部国文学科卒 藤岡 正典
 花山信勝師の『平和の発見』と出遇い東條英機さんの転換を知った。私の中で恨みから仏に転じた。更に父を知らぬ境遇が、この上ない有難いものになった。
 この境遇のお陰で、念仏の真実に出遇えたからである。
 学祖、井上円了先生も清沢満之先生も同様の思いからあの人生の歩みになったと信じている。

S32年3月文学部社会学科卒 金子 俊二
 がん闘病に打勝ち、まだ85才ですが母校東洋大学の躍進と共に元気に過しています。益々の隆盛発展を祈願しています。

S52年3月社会学部応社会学科卒 児玉 良一
 卒業したのが応社会学科だったのか社会心理学科であったのか、果たして社会心理学科という学科があったのかさえ、最近の大学の課程を見ると、確信が持たなくなっているのが現状です。

事務局より

◎校友会費納入についてのお願い

支部活動は校友会費納入による、支部還元金によって運営されております。納入頂いた方には、校友会本部から「東洋大学校友会報」が年4回送付されます。この甫水も還元金によって多くの方々の手をわずらわし、発行させていただいております。

年会費 3,000円
 終身会費(1回完了) 50,000円
 郵便振替 口座番号 00150-0-91833
 加入者名 東洋大学校友会

◎甫水では、校友からの作品(絵画、書道、俳句、短歌、挿絵、生け花、盆栽等)を募集しております。

自薦、他薦いづれでも結構です。又、校友の動静がわかりましたら、ご連絡おねがいします。

【連絡先】

会報部長	吉田 実	〒943-0804 上越市新光町2-3-33	電話 025-525-7458
上越地区事務局長	山崎 次男	〒940-0145 上越市大字今池498	電話 025-525-4086
中越地区事務局長	高坂 寛二	〒940-0098 長岡市信濃2-10-35	電話 0258-35-5878
下越地区事務局長	斎藤 淳	〒959-1811 五泉市三本木3-1-16	電話 0250-43-1289
会報事務局長	本間 直彦	〒950-0992 新潟市中央区上所上1-12-6	電話 025-283-3919

会員動静

(敬称略)

●受章おめでとうございます

瑞宝双光章

渡辺菱三 (S43年文学部教育学科)

■お悔やみ申し上げます

比金 勝一 (S36年経済学部経済学科卒)

村川 健二 (S40年社会学部応社会学科卒)

忠平 敏彦 (S44年経済学部経済学科卒)

富永 宣勝 (S42年文学部国文学科)

編集後記

今年も校友の皆様のご協力により第31号甫水をお送りすることができ深く感謝申し上げます。今回は堅苦しい予算報告などのスペースを削り、校友のたよりなどの記事を増やす努力をしました。その代わりに県支部総会では文字を大きくした予算資料を別に配布する予定です。

会報は校友の皆さんが楽しく読んで頂けることを第1として今後も取り組みますので、皆様の近況や宣伝・募集などの情報を各地区の役員にお知らせ下さい。また甫水の内容についてのご意見・ご要望もお願い致します。

会報部長 S53年工学部応用化学科卒 吉田 実